

令和 5 年度

第 2 期湯前町総合戦略検証結果報告書

基本目標・具体的な施策に係る検証結果一覧について

- 進捗率（A～D 判定）について

令和 5 年度は、単年又は累計の実績値から算出した進捗率について、A～D の判定を行った。

- 判定基準

A . . . 76～100%

B . . . 51～75%

C . . . 26～50%

D . . . 0～25%

基本目標・具体的な施策に係る検証結果一覧

基本目標1 力強い産業としごと創生

・数値目標

判定：A…76～100%以上 B…51～75% C…26～50% D…0～25%

数値目標	基準値	R2年度 (実績値)	R3年度 (実績値)	R4年度 (実績値)	R5年度 (実績値)	R6年度 (実績値)	目標値	進捗率 (%)	判定 (A～D)
①認定農業者数	50人	57人	57人	51人	51人		50人	102.0%	A
②事業所への就業者数	976人	－	1,099人	－	－		1,000人	－	－
内部検証および今後の方針	①認定農業者数については、令和4年度から横ばいで推移しており目標値は超えているが、今後も農業の担い手として確保するよう努めていく。 ②令和4年度に引き続き、就業を考えている町民向けの無料相談会（ジョブカフェ、若者サポートステーション）の実施や、窓口への求人情報誌の設置など就業希望者への支援を行った。今後は、商工会等関係機関とも連携して就業者の確保にも努めたい。就業者数については令和8年度に実施する経済センサスにて反映を行う。								

・重要業績評価指数

施策1 地域産業力の向上のための支援

重要業績評価指標 (KPI)	基準値	R2年度 (実績値)	R3年度 (実績値)	R4年度 (実績値)	R5年度 (実績値)	R6年度 (実績値)	目標値	進捗率 (%)	判定 (A～D)
①認定農業者数	50人	57人	57人	51人	51人		50人	102.0%	A
内部検証および今後の方針	認定農業者数については、令和4年度から横ばいで推移しており目標値は超えているが、今後も農業の担い手として確保するよう努めたい。								
②林業素材生産量	98,000㎡	91,650㎡	86,143㎡	66,042㎡	72,324㎡		100,000㎡	72.3%	B
内部検証および今後の方針	前年度素材生産量より105%と回復傾向にあるものの、林業従事者の高齢化に伴う労働力不足や、近年の豪雨災害等による林道・作業道の復旧が進まず、搬出できる区域が限定され目標値を下回った。林道・作業道復旧工事や町有林の計画的伐採を推し進めるなど、安定的な事業の発注と林業担い手支援事業等を行い林業事業体への事業確保を支援する。								
③先端設備導入計画認定件数	0件	1件	2件	2件	0件		7件（累計） （R5修正） 5件(R4修正)	71.4%	B
内部検証および今後の方針	令和5年4月の新制度改正に伴い、事業所からの問い合わせも減少しているが、引き続き商工会等との関係機関との連携を図りながら、町内事業者へ制度周知を行っていく。								

基本目標・具体的な施策に係る検証結果一覧

基本目標1 力強い産業としごと創生

・数値目標

判定：A…76～100%以上 B…51～75% C…26～50% D…0～25%

重要業績評価指標（KPI）	基準値	R2年度 （実績値）	R3年度 （実績値）	R4年度 （実績値）	R5年度 （実績値）	R6年度 （実績値）	目標値	進捗率（%）	判定（A～D）
④小規模事業者持続化補助金採択件数	1件	1件	6件	0件	2件		23件 （累計）	39.1%	C
内部検証および今後の方針	設備投資等を行う事業者の負担軽減を図ることができた。引き続き補助対象者に対し漏れなく補助金を交付するために、商工会と連携して制度の周知を行っていく。								
⑤新規就農者数	0人	3人	3人	3人	0人		10人 9大(R4修正) 5大(R3修正) （5年累計）	90.0%	A
内部検証および今後の方針	今年度は親元就農者等がおらず、実績は0人となった。今後も、国・県・町の支援内容等の周知を図りながら、新規就農者の確保に努めたい。								
⑥商工業者承継者数	0人	1人	2人	1人	2人		8人 （5年累計）	75.0%	B
内部検証および今後の方針	経営者の高齢化による親族内承継が2件となった。今後も湯前町商工会や事業承継引継ぎ支援センター等の関係機関と連携して、少しでも廃業する事業者を減らすためのサポートに努めたい。								

施策2 安定した雇用創出のための支援

重要業績評価指標（KPI）	基準値	R2年度 （実績値）	R3年度 （実績値）	R4年度 （実績値）	R5年度 （実績値）	R6年度 （実績値）	目標値	進捗率（%）	判定（A～D）
①創業者数（農林商工業）	1人	0人	1人	0人	農業：0人 商工業：1人		5人 （5年累計）	20.0%	D
内部検証および今後の方針	商工業：創業予定者から1件お問い合わせがあり、商工会と連携して創業までのサポートを行い、創業者1名となった。引き続き商工会と連携してワンストップ窓口で支援に努めたい。また、創業支援等事業計画に定める創業支援事業についても活用いただけるように周知していく。								
②若者雇用促進事業の交付件数	－	－	－	－	－		20件 （5年累計）	－	－
内部検証および今後の方針	物価高騰対策事業に注力したことにより、事業に取り組むことができなかった。今後、事業の検討を行っていく。								

基本目標2 誇れる・選ばれるまち創生

・数値目標

判定：A…76～100%以上 B…51～75% C…26～50% D…0～25%

数値目標	基準値	R2年度 (実績値)	R3年度 (実績値)	R4年度 (実績値)	R5年度 (実績値)	R6年度 (実績値)	目標値	進捗率 (%)	判定 (A～D)
①社会増減数	△11人	14人	30人	△31人	△11人		31人	0.0%	D
②湯前町に住みたい割合 (アンケート結果)	55.5%	56.0%	—	—	49.5%		60.0%	82.0%	A
内部検証および今後の方針	①社会増減数は転入の減少と転出の増加が重なり、令和3年度から引き続き減少傾向であるが、住宅施策等を中心に広く町民に周知し、転出抑制や転入増加に効果がある施策の推進を行っていききたい。 ②令和5年度にアンケートを実施した結果、特に30代～40代の住みたい割合が30%前後と低かった。住みたい理由としては、交通の利便性や買い物の不便さ、仕事（働く所がない）などが多く、住みたい町にする施策の重要性と、前回アンケートに引き続き無記入の割合が高かったため、次のアンケート実施時には回答しやすい設問や選択にするなど工夫して、正確に意見が拾えるように改善を行いたい。								

・重要業績評価指標

施策1 魅力づくりと発信

重要業績評価指標 (KPI)	基準値	R2年度 (実績値)	R3年度 (実績値)	R4年度 (実績値)	R5年度 (実績値)	R6年度 (実績値)	目標値	進捗率 (%)	判定 (A～D)
①観光入込客数	206,880人	90,840人	110,406人	120,300人	122,589人		220,000人	55.7%	D
内部検証および今後の方針	新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴い増加傾向にあるが、目標値からは大幅に下回ることとなった。要因としては、実績値を観光統計を基に算定しているが、基準値の時点とは観光統計の算定方法が変更しており、算定に算入する施設数が減ったことが大きな要因としてあるが、まだ各施設もコロナ以前の数値にまでは回復していない。キャンプの需要増加に伴いグリーンパレスが増加傾向にあるため、湯楽里への接続や文化財や駅周辺施設への周遊を促していききたい。								
②宿泊者数	7,849人	3,813人	5,167人	7,307人	7,178人		8,567人	83.7%	D
内部検証および今後の方針	令和4年度まで続いていた、熊本県の旅行促進事業が終了したこともあり、宿泊者が一度落ち着いたことと、コテージが1棟使用できない状況になったことにより、令和4年度より減少したと考えられる。ワーケーションや各種イベントなどと連動して宿泊機会の創出のと組んでいきたい。また、湯楽里のサービスの満足度を高めることでリピーターの増加を図っていききたい。								
③関係人口数	1,740人	2,370人	2,124人	2,093人	6,151人		7,000人 (R5修正) 2,201人	87.8%	A
内部検証および今後の方針	アフターコロナへの転換に伴って人流や消費行動が戻ってきたこともあり、主にふるさと納税に係る関係人口が飛躍的に伸びている。また協働の森づくり活動やワーケーション事業も前年度より人数が増えており、その他事業についても認知度が高まっているため、今後も継続して事業を行い関係人口増加に努める。								

基本目標2 誇れる・選ばれるまち創生

・数値目標

判定：A…76～100%以上 B…51～75% C…26～50% D…0～25%

重要業績評価指標（KPI）	基準値	R2年度 （実績値）	R3年度 （実績値）	R4年度 （実績値）	R5年度 （実績値）	R6年度 （実績値）	目標値	進捗率（％）	判定（A～D）
④ホームページ閲覧者数	196,800PV	1,119,501PV	1,602,120PV	2,254,420PV	2,458,265PV		2,800,000PV	87.8%	A
内部検証および今後の方針	情報発信部署の記事登録数が以前より増えて、より多くの人の目に触れる結果となった。今後は日常生活に必要な「暮らし・手続き」「教育・子育て・文化」など、身近な情報をタイムリーに掲載していきたい。								
⑤SNS登録者数	－	223人	540人	737人	10,687人		11,000人 （R5修正） 1,300人	97.1%	A
内部検証および今後の方針	令和4年度までは町のLINE登録者数の実績値であったが、SNSの普及に伴い各種団体（B＆G、まんが美術館、観光物産協会、協力隊等）でもinstagramやホームページ等のSNSを運営しており、令和5年度からは各種団体を含めたSNS登録者数を実績値とし、併せて目標値も変更した。次年度も引き続き情報発信を行い、ホームページや旬報等でも登録者数の呼びかけを行うとともに、各種団体が運営するSNSについても情報発信に協力いただく。								
⑥若者会議による施策や事業の提案数	－	－	0件	1件	0件		5件 （累計）	20.0%	D
内部検証および今後の方針	令和4年度に1件提案することができたが、運用について参加者からも意見をもらい、新たな運用方法を検討したが、参加者の負担軽減と内容の充実を両立させる運用方法の確立ができず講演会1回のみで開催となってしまった。 令和6年度については、テーマの設定や進行方法など参加者の負担軽減や参加しやすさを進め、まちづくりへの参画意識の醸成を図りたい。								
⑦まんがの町としての充実度	－	－	－	60%	46%		80%	57.5%	B
内部検証および今後の方針	令和5年度も地域おこし協力隊2名を中心に、まんが美術館でのワークショップ、学習マンガイラストコンテスト、まんが授業、まんが教室、ライブペイント、漫画家トークショーなどさまざまなイベントを実施した。実績値は、令和4年度は入館者アンケート、令和5年度は町民アンケートによるもので、性質の違いから一概に比較はできないが、町民にまんがのまちづくりの取り組みが十分に浸透していないと思われる。引き続きさまざまな活動を実施しながら、町民の参加も促進していきたい。								
⑧入館者数 （まんが美術館・図書館）		2,014人	1,487人	4,614人	5,113人 まんが図書館2,311人 まんが美術館2,802人		13,210人	38.7%	C
内部検証および今後の方針	感染対策を一部行いながら通常営業を行い、まんが美術館事業を専門とする地域おこし協力隊2人の協力のもと、出前展示など他の美術館等との連携を行ったため来館者数が昨年を大きく上回った。今後も共同巡回展等で、事業拡大を図る。 まんが図書館については、レールウイングでのイベントなどを実施し、新型コロナウイルス感染症流行前に戻りつつある。令和6年度から指定管理者が変わったので、今までの実績も踏まえながら新たな集客事業の展開を促していきたい。								

基本目標2 誇れる・選ばれるまち創生

・数値目標

判定： A…76～100%以上 B…51～75% C…26～50% D…0～25%

施策2 移住・定住の促進

重要業績評価指標（KPI）	基準値	R2年度 （実績値）	R3年度 （実績値）	R4年度 （実績値）	R5年度 （実績値）	R6年度 （実績値）	目標値	進捗率（％）	判定（A～D）
①転入者数（住民基本台帳）	75人	108人	121人	75人	87人		148人	58.8%	B
内部検証および今後の方針	地域おこし協力隊や空き家リフォームなど施策を介しての転入もあったが、詳細については近年の転入の傾向などと比較して内容の確認を行いたい。詳細な理由の確認を行い、本町の転入の強みとなる部分について施策の検討などを行っていきたい。								

施策3 安全・安心で快適な住みよいまちづくり

重要業績評価指標（KPI）	基準値	R2年度 （実績値）	R3年度 （実績値）	R4年度 （実績値）	R5年度 （実績値）	R6年度 （実績値）	目標値	進捗率（％）	判定（A～D）
①防災リーダー育成（防災士の人数）	4人	3人	0人	2人	6人		14人 （累計）	78.6%	A
内部検証および今後の方針	各地区自主防災組織に防災士資格取得の協力依頼を行い、令和5年度において熊本県主催の火の国ぼうさい塾を受講し、6名の方が新たに防災士の資格を取得された。令和6年度も同様に火の国ぼうさい塾の受講者を募集するため、目標値を達成できる見込み。								
重要業績評価指標（KPI）	基準値	R2年度 （実績値）	R3年度 （実績値）	R4年度 （実績値）	R5年度 （実績値）	R6年度 （実績値）	目標値	進捗率（％）	判定（A～D）
②健康寿命	男性67.5歳	男性67.0歳	男性75.8歳 （※参考値）	男性77.3歳 （※参考値）	男性76.4歳 （※参考値）		78.0歳（R5修正） 男性70.4歳	—	—
	女性74.0歳	女性72.4歳	女性84.8歳 （※参考値）	女性85.6歳 （※参考値）	女性85.1歳 （※参考値）		86.0歳（R5修正） 女性75.0歳	—	—
内部検証および今後の方針	健康寿命の算出は国と県に合わせて「日常生活に制限のない期間の平均」で算出していたが、本町の人口規模では継続が難しいため、令和3年度から要介護2以上を健康ではない状態とする「日常生活動作が自立している期間の平均（平均自立期間）」を参考に検証している。男女ともに横ばいの推移であるが、男性は国や県と比較すると平均自立期間が短く、平均余命も国や県より短い。令和5年度から開始した「高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施」の事業で、フレイルリスクの高い後期高齢者へ個別介入を行っている。生活習慣病の基礎疾患が重症化した脳血管疾患や心疾患からの要介護認定者はそれぞれ3割～4割を占める。通いの場活動等の介護予防事業と合わせて、保健事業として持病の重症化予防を行うことで、平均余命と平均自立期間の延伸につなげたい。今後は平均自立期間で健康寿命を評価していくが、算出方法の変更のため、当初の目標値を変更し、男性78.0歳、女性86.0歳とする。								

基本目標2 誇れる・選ばれるまち創生

・数値目標

判定： A…76～100%以上 B…51～75% C…26～50% D…0～25%

重要業績評価指標（KPI）	基準値	R2年度 （実績値）	R3年度 （実績値）	R4年度 （実績値）	R5年度 （実績値）	R6年度 （実績値）	目標値	進捗率（％）	判定（A～D）
③地域コミュニティ活動参加者数	6,377人	2,420人	5,401人	5,047人	4,958人		8,800人	56.3%	B
内部検証および今後の方針	湯前町B&G海洋センターロビー及びトレーニングルームは地域コミュニティ形成の場所としてどなたでも活用いただけるが、利用者の多くは定期開催の介護予防活動への参加者である。湯前町B&G海洋センターはスポーツを行う場所であるとの認識が高く、それ以外の交流の場として活用いただけていないことから、次年度は広報紙やSNSを活用した施設の紹介、他課との連携事業、地域おこし協力隊発案事業などにより地域コミュニティの活性化を図っていく。								
重要業績評価指標（KPI）	基準値	R2年度 （実績値）	R3年度 （実績値）	R4年度 （実績値）	R5年度 （実績値）	R6年度 （実績値）	目標値	進捗率（％）	判定（A～D）
④町営住宅建設戸数	166戸 （単身向け6戸）	166戸 （単身向け6戸）	164戸 （単身向け6戸）	159戸 （単身向け6戸）	160戸 （単身向け6戸）		172戸 （単身向け6戸）	93.0%	A
内部検証および今後の方針	令和5年度は老朽化し危険性のある森重東住宅1戸と上牧原住宅2戸の計3戸を解体し、新たに駅前団地4戸の建設が完了したため、令和4年度と比較し1戸増となった。令和6年度も駅前団地2戸の建設に着手しているが、町営住宅への需要もあり、今後も新たな住宅建設が必要と思われるため、引き続き令和7年度以降も駅前団地1戸と町有地への単身向け住宅の建設を進めていく予定である。								
⑤個人住宅建設戸数	6戸	5戸	7戸	10戸	7戸		10戸	70.0%	B
内部検証および今後の方針	球磨スギ・ヒノキ需要促進事業が令和4年度までで終了し、令和5年度から新たに新築応援事業として住宅施策をスタートさせたが、思うように認知ができず昨年より3戸減となった。木材自体の価格高騰の影響もあると思われるが、まずは補助金事業の理解・認知を広め、新築戸数の増加に努めたい。								

基本目標3 未来を担う若い世代の希望創生

・数値目標									
判定： A…76～100%以上 B…51～75% C…26～50% D…0～25%									
数値目標	基準値	R2年度 (実績値)	R3年度 (実績値)	R4年度 (実績値)	R5年度 (実績値)	R6年度 (実績値)	目標値	進捗率（%）	判定（A～D）
①年少人口率	11.4%	10.4% (住基台帳数値のため参考)	10.8%	9.8% (住基台帳数値のため参考)	9.9%		11.5%	86.1%	A
内部検証および今後の方針	令和4年度の数値とほぼ変化はないが、引き続き出生数の増加を推進するだけでなく、新築応援事業等の住宅施策や結婚支援金といった子育て世代の転入を促すような施策の周知を行って、年少人口率の減少を食い止めたい。								

・重要業績評価指標

施策1 子どもを安心して生み育てられる環境の整備

重要業績評価指標（KPI）	基準値	R2年度 (実績値)	R3年度 (実績値)	R4年度 (実績値)	R5年度 (実績値)	R6年度 (実績値)	目標値	進捗率（%）	判定（A～D）
①出会いの場への参加者数	2人	－	－	4人	5人		50名 (累計)	18.0%	D
内部検証および今後の方針	令和4年度に引き続き開催した婚活イベントについて、町内参加者は5名でそのうち参加された3名がカップル成立となった。イベント全体での成立数は6組の50%を達成し、前年度の9組は下回ったものの、他の婚活イベントと比較すると高成率数であるとのこと。次年度は、球磨郡9町村から成る結婚対策推進協議会で管内市町村の独身者への結婚支援として、引き続き出会いの場を創出するためのイベントを提供していきたい。								
②子育て世帯数	250世帯	214世帯	237世帯	224世帯	219世帯		250世帯	87.6%	A
内部検証および今後の方針	世帯数、子ども数ともに令和4年度より微減している。令和6年度は湯前町子ども子育て支援事業計画の改定時期のため各種事業の継続及び新規事業に取り組み、子育て世帯の負担軽減に努めたい。								

基本目標3 未来を担う若い世代の希望創生

・数値目標

判定： A…76～100%以上 B…51～75% C…26～50% D…0～25%

施策2 湯前ならではの特色ある教育の展開

重要業績評価指標（KPI）	基準値	R2年度 （実績値）	R3年度 （実績値）	R4年度 （実績値）	R5年度 （実績値）	R6年度 （実績値）	目標値	進捗率（％）	判定（A～D）
①小中一貫教育に対する保護者の満足度	－	73%	74%	78.7%	79.1%		80.0%（R5修正） 75%（R4修正）	98.9%	A
内部検証および今後の方針	新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴い、例年通りの学校生活を送ることができるようになり、小中学校の交流も増やすことができた。合唱祭等、新しく小中合同で実施する行事も増え、今後はさらにこれらの取組の周知に努めていきたい。								
②地域学校協働活動参加人数	－	195人	709人	902人	490人		1,000人（R5修正） 600人（R4修正）	49.0%	C
内部検証および今後の方針	職場体験の休止や、雨天により協力行事等の不参加のため参加人数は減少となったが、学校への地域の参加者は増え、地域が学校を支える活動が充実すると共に、中学生が文化財の清掃や町民体育祭への協力など地域への社会貢献を行い、より良い活動ができており、さらに地域の協力者への呼びかけを行い活動を広めていく。								